

アジ研

発展途上国の明日を展望する分析情報誌

ワールド・トレンド

特集

APECはどこに行くのか？

—APEC研究センターコンソーシアム会議2010

12

2010
No.183

●分析レポート インド自動車部品産業における中小企業の発展

フォトエッセイ チリの小規模漁業に生きる人々



1	巻頭エッセイ／新段階を迎えたAPEC	浦田秀次郎
特集 APECはどこに行くのか？—APEC研究センターコンソーシアム会議2010		
2	特集にあたって—ボゴール目標のその先—	平塚大祐
4	APEC参加エコノミーを取り巻くサービス貿易自由化の現状	石戸 光
10	環太平洋パートナーシップ (TPP) 協定—始まり、意義および見通し	ロバート・スコレー
17	中国の台頭とアジア太平洋地域の域内アーキテクチャー	蔡 鵬鴻
25	ロシアのAPEC加盟—域内統合・発展への名目的参加からようやく実質的関与へ	タギル・フジヤトフ
29	アジア総合開発計画と新たな開発戦略—アジア太平洋地域への含意	木村福成
32	経済地理シミュレーションモデル (GSM) の開発—東アジア地域開発への応用	熊谷 聡
35	APECへの学の参加—APEC研究センターの起源と可能性	山澤逸平
39	APECポリシー・サポート・ユニットの役割およびデータ・ベース・システムの紹介	ネイザン・ジヴォフ
41	APEC将来の針路	鍋嶋 郁
47	アジア太平洋を中心とする協力の枠組み	
48	フォトエッセイ チリの小規模漁業に生きる人々	北野浩一・北野愛子
分析レポート		
52	インド自動車部品産業における中小企業の発展	内川秀二
59	連載 すぐに役立つ開発指標の話 第12回 健康指標と障害調整生存年 (DALY(s))	野上裕生
61	フィールドワーク心得帖 第9回 人々の目に映る私とは？—日本人+女性+研究者であること	村上 薫
異文化 言い分 EVEN		
63	タンスに「SO…」	寺本 実
64	現代社会と標準—植民地化された日常世界のリゾーム的多様化	宣 響
オピニオン		
66	トップ・ドナーからスマート・ドナーへ：民主党政権のODA政策に対する提言	山形辰史・高橋基樹
新刊紹介		
68	研究双書No.588 『中国の水環境保全とガバナンス—太湖流域における制度構築に向けて』	大塚健司
69	研究双書No.591 『国際資金移動と東アジア新興国の経済構造変化』	国宗浩三
70	レファレンス・コーナー 東南アジアの教育と教育制度の改革について	菅原房子
71	アジア各国・地域 経済統計 中国／香港／台湾／韓国／タイ／シンガポール／マレーシア／インドネシア／フィリピン／ベトナム／ミャンマー／インド／カンボジア／ラオス	研究情報システム課
76	『アジ研ワールド・トレンド』2009年1月～12月記事総目録	
80	アジ研だより	

表紙写真：一同に会するAPEC首脳（横浜、2010年11月13日。写真：アフロ）

本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

記事総目録

●異文化 言い分 EVEN

日本で生活／サンヤサク・セン・アールン	(173)	2010.2
バリ滞在記／孟渤	(173)	2010.2
タイと日本—日常生活の相違		
／スパサワド・チャードウチャワーン	(174)	2010.3
少数民族の街に暮らして／狩野修二	(174)	2010.3
通勤バスでの発見／サリナ・カシム	(175)	2010.4
あの世にまつわるマダガスカル—の伝統		
／ヘリンジャボ・エイメ・ラミアリソン	(175)	2010.4
日本の文化に接して／チョウ・ソウ・フライン	(176)	2010.5
異文化体験二題／サイマ・アフザル	(176)	2010.5
南アフリカでのホームステイ／佐藤千鶴子	(177)	2010.6
南京の新聞戦争／方勇	(177)	2010.6
怒ったら負け、だから／荒井悦代	(178)	2010.7
発展したアジアの不可思議／ケオラ・スックニラン	(178)	2010.7
わたしにとって日本とは／セマル・アティシ	(179)	2010.8
多様性のなかの統一—インドの特徴／ブラヴァカル・サファー	(179)	2010.8
私にとっての日本／グエン・ホン	(180)	2010.9
他人との接し方から見た日本文化／張宏武	(181)	2010.10
ブラジルの高齢化と老年学／アンドレア・ロベス	(181)	2010.10
自転車社会は到来するのか／佐藤寛	(182)	2010.11
ベトナムの真の国際化とは？—タクシー運転手とのやり取りから		
／丸崎健二	(182)	2010.11
タンスに「SO…」／寺本実	(183)	2010.12
現代社会と標準—植民地化された日常世界のリズム的多様化		
／宣響	(183)	2010.12

●オピニオン

トップ・ドナーからスマート・ドナーへ：民主党政権のODA政策 に対する提言／山形辰史・高橋基樹	(183)	2010.12
--	-------	---------

●書評

バリー・ウェイン著『マレーシアの一匹狼—波乱の時代のマハ ティール・モハマド』／クー・ブー・テック	(181)	2010.10
--	-------	---------

●ブックシェルフ

(新刊紹介)

『インド 児童労働の地をゆく』アジアを見る眼シリーズ112		
／田部昇	(172)	2010.1
坂田正三編『変容するベトナムの経済主体』(研究双書No.579)		
／坂田正三	(173)	2010.2
近藤則夫編『インド民主主義体制のゆくえ—挑戦と変容』(研究双 書No.580)／近藤則夫	(173)	2010.2
児玉由佳編『現代アフリカ農村社会と公共圏』(研究双書No.581)		
／児玉由佳	(174)	2010.3
池上彰英・寶劔久俊編『中国農村改革と農業産業化』(アジ研選書 No.18)／寶劔久俊	(174)	2010.3
奥田聡著『韓国のFTA—10年の歩みと第三国への影響』(アジ研選 書No.19)／奥田聡	(174)	2010.3
研究双書 ポスト民主化期の台湾政治—陳水扁政権の8年		
／佐藤幸人	(175)	2010.4
アジ研選書 中国の持続可能な成長—資源・環境制約の克服は可 能か？／堀井伸浩	(175)	2010.4
アジ研選書 新興諸国の資本財需要—ロシアとベトナムの工作機 械市場／水野順子	(175)	2010.4
研究双書No.584『新興民主主義国における政党の動態と変容』		
／佐藤章	(176)	2010.5

情報分析レポートNo.13『パキスタン政治の混迷と司法』／佐藤創	(176)	2010.5
情報分析レポートNo.14『2009年インドネシアの選挙—ユドヨノ再 選の背景と第2期政権の展望』／川村晃一	(176)	2010.5
研究双書No.583『開発途上国と財政—歳入出、債務、ガバナンス における諸課題』／柏原千英	(177)	2010.6
アジ研選書No.22『メコン地域 国境経済をみる』／石田正美	(177)	2010.6
岩波書店／アジア経済研究所叢書6『途上国石油産業の政治経済分 析』／坂口安紀	(178)	2010.7
『アジア動向年報2010』／奥田聡	(178)	2010.7
書籍工房早山『華人と国家—インドネシアのチナ問題』		
／相沢伸広	(179)	2010.8
研究双書No.585『アジア諸国の障害者法—法的権利の確立と課題』		
／小林昌之	(182)	2010.11
研究双書No.586『国際リサイクルをめぐる制度変容—アジアを中 心に』／小島道一	(182)	2010.11
研究双書No.588『中国の水環境保全とガバナンス—太湖流域にお ける制度構築に向けて』／大塚健司	(183)	2010.12
研究双書No.591『国際資金移動と東アジア新興国の経済構造変化』		
／国宗浩三	(183)	2010.12

(レファレンスコーナー)

メコン地域開発の関連資料／河田重隆	(172)	2010.1
アフリカに関する国際機関の教育統計／岸真由美	(173)	2010.2
「資源問題」を知ろう／荻野洋司	(174)	2010.3
受難の国ハイチの歴史を知るために／村井友子	(175)	2010.4
植民地期台湾の統計調査／伊藤えりか	(176)	2010.5
翻訳書で知る東南アジアの農村／高橋宗生	(177)	2010.6
バン格拉デシュを知るために／坂井華奈子	(178)	2010.7
韓国併合100年／二階宏之	(179)	2010.8
写真集で知る海外事情／石井美千子	(180)	2010.9
アジアのことばと文字／佐々木茂子	(181)	2010.10
イスラーム金融とは何か／東川繁	(182)	2010.11
東南アジアの教育と教育制度の改革について／菅原房子	(183)	2010.12

●その他

アジア各国・地域 経済統計 (2004~2009年8月)／研究支援部研 究情報システム課	(172)	2010.1
アジア各国・地域 経済統計 (2004~2009年9月)／研究支援部研 究情報システム課	(173)	2010.2
アジア各国・地域 経済統計 (2004~2009年10月)／研究支援部 研究情報システム課	(174)	2010.3
アジア各国・地域 経済統計 (2004~2009年11月)／研究支援部 研究情報システム課	(175)	2010.4
アジア各国・地域 経済統計 (2005~2009年12月)／研究支援部 研究情報システム課	(176)	2010.5
アジア各国・地域 経済統計 (2005~2010年2月)／研究支援部研 究情報システム課	(177)	2010.6
アジア各国・地域 経済統計 (2005~2010年3月)／研究支援部研 究情報システム課	(178)	2010.7
アジア各国・地域 経済統計 (2005~2010年4月)／研究支援部研 究情報システム課	(179)	2010.8
アジア各国・地域 経済統計 (2005~2010年5月)／研究支援部研 究情報システム課	(180)	2010.9
アジア各国・地域 経済統計 (2005~2010年6月)／研究支援部研 究情報システム課	(181)	2010.10
アジア各国・地域 経済統計 (2005~2010年7月)／研究支援部研 究情報システム課	(182)	2010.11
アジア各国・地域 経済統計 (2005~2010年8月)／研究支援部研 究情報システム課	(183)	2010.12

記事総目録

く実質的関与へ/タギル・フジヤトフ	(183)	2010.12
アジア総合開発計画と新たな開発戦略—アジア太平洋地域への含意/木村福成	(183)	2010.12
経済地理シミュレーションモデル (GSM) の開発—東アジア地域開発への応用/熊谷聡	(183)	2010.12
APECへの学参加—APEC研究センターの起源と可能性/山澤逸平	(183)	2010.12
APECポリシー・サポート・ユニットの役割およびデータ・ベース・システムの紹介/ネイザン・ジヴォフ	(183)	2010.12
APEC将来の針路/鍋島郁	(183)	2010.12
アジア太平洋を中心とする協力の枠組み	(183)	2010.12

●フォト・エッセイ

カンボジア ラタナキリ州の先住民/初鹿野直美	(172)	2010.1
中国における農業水利の諸形態—最近の調査事例から/山田七絵	(173)	2010.2
現代アートシーンを通してみる東アフリカ社会/吉田栄一	(174)	2010.3
テラワダ仏教の僧衣の色/加賀美充洋	(175)	2010.4
インド・ビハール州 楽園のなかの楽園をゆく/辻田祐子	(176)	2010.5
チベット奥地、シャングリラの谷に住む少数民族/角幡唯介	(177)	2010.6
TEHRAN NOBODY/岩崎葉子	(178)	2010.7
お茶産地坪林と台北の専門店/池上寛	(179)	2010.8
インド洋からの風に吹かれて/久野武志	(180)	2010.9
インド人との旅—マトゥラー編/村山真弓	(181)	2010.10
バングラデシュの障害者—もう一人のマグサイサイ賞受賞者		
／山形辰史	(182)	2010.11
チリの小規模漁業に生きる人々/北野浩一・北野愛子	(183)	2010.12

●分析レポート

中国黒龍江省の対ロシア貿易—辺境貿易を中心に/平泉秀樹	(173)	2010.2
中国と台湾の対話再開—海峡兩岸関係の道筋/松本はる香	(173)	2010.2
世界トップに躍り出た中国の工作機械生産額/水野順子	(180)	2010.9
ベトナムの国家機構改革—一県、郡人民評議会不組織試行の論理背景/寺本実	(182)	2010.11
インド自動車部品産業における中小企業の発展/内川秀二	(183)	2010.12

●バンコク研究センタープロジェクト

メコン河流域諸国と日・中・韓関係/加賀美充洋	(179)	2010.8
CLMV諸国外国投資誘致のための拠点開発の検討/石田正美	(179)	2010.8
ミャンマーと中国の国境貿易—「特区」と新ビルマ・ロード		
／工藤年博	(180)	2010.9
経済統合により変化する東アジアの分業体制/植木靖	(180)	2010.9

●トレンド・レポート

アフリカ非核兵器地帯条約の発効—その歴史・概要・課題		
／高林敏之	(174)	2010.3
中国太湖流域の環境再生をめぐる—南京国際ワークショップ報告/大塚健司	(176)	2010.5
湾岸の石油資源と外資の開発参入—ペルシャ湾岸地域と欧米・中国/福田安志	(177)	2010.6
ベトナムと中国の国境問題—陸上での前進と海上における課題		
／寺本実	(177)	2010.6

タイの政治混乱—その歴史的 position/重富真一	(178)	2010.7
中国の就職事情を巡る二つの矛盾—好調な景気回復の陰で		
／堂ノ上武夫	(178)	2010.7
フィリピン—9年ぶりの政権交代/鈴木有理佳	(180)	2010.9
香港における民主化の「再開」—2012年行政長官、立法会選挙制度改革/竹内孝之	(181)	2010.10
トルコの「東寄り」—現実と言説/間寧	(182)	2010.11

●現地レポート

アンダマン海を南下するロヒンギヤ移民・難民・人身取引・無国籍/山田美和	(172)	2010.1
-------------------------------------	-------	--------

●第31回発展途上国研究奨励賞受賞記念講演

タイの30パーツ医療制度—地域研究、ディシプリン、そして実践		
／河森正人	(181)	2010.10

●インタビュー

武内進一氏にきく アフリカの紛争、ルワンダのジェノサイド	(175)	2010.4
大平賞受賞 中西嘉宏研究員にきく 軍政ビルマの権力構造		
／中西嘉宏	(181)	2010.10

●連載/すぐに役立つ開発指標の話

第1回 開発指標とは何か/野上裕生	(172)	2010.1
第2回 人間開発指数 (HDI) /野上裕生	(173)	2010.2
第3回 全要素生産性 (TFP) /野上裕生	(174)	2010.3
第4回 購買力平価/野上裕生	(175)	2010.4
第5回 貧困指標/野上裕生	(176)	2010.5
第6回 交易条件/野上裕生	(177)	2010.6
第7回 持続可能な発展と真の貯蓄率/野上裕生	(178)	2010.7
第8回 ガバナンス指標/野上裕生	(179)	2010.8
第9回 後発開発途上国 (LDCs) の指標/野上裕生	(180)	2010.9
第10回 ジェンダー開発指数/野上裕生	(181)	2010.10
第11回 競争力指数/野上裕生	(182)	2010.11
第12回 健康指標と障害調整生存率 (DALY(s)) /野上裕生	(183)	2010.12

●連載/フィールドワーク心得帖

第1回 いつもフィールドに出ていたかった/鈴木均	(175)	2010.4
第2回 階層社会ブラジルでのフィールド・ワーク/近田亮平	(176)	2010.5
第3回 村を歩く/重富真一	(177)	2010.6
第4回 フィールドでの作業/伊藤成朗	(178)	2010.7
第5回 北インドの村のイメージと実態/近藤則夫	(179)	2010.8
第6回 ビルの谷間 (?) でフィールドワーク/柏原千英	(180)	2010.9
第7回 インタビューの作法/工藤年博	(181)	2010.10
第8回 誰に何を聞けるかは万事塞翁が馬/渡邊真理子	(182)	2010.11
第9回 人々の目に映る私とは?—日本人+女性+研究者であること/村上薫	(183)	2010.12

●カルチャー・ショック

(外国人のみた日本)		
カタコトもまた楽し/クー・ブー・テック	(172)	2010.1
(日本人のみた外国)		
天使の都の街角で/山田美和	(172)	2010.1

記事総目録

国境地域から見たパキスタン・アフガニスタンの政治情報 ／登利谷正人	(176) 2010.5
援助の成果—根拠を求めて／鈴木千穂	(176) 2010.5
チリの巨大地震発生と社会の亀裂／北野浩一	(176) 2010.5
OECDと中国との関係強化の経緯およびその最新動向／孟渤	(176) 2010.5

《ベトナム農業・農村の工業化・近代化》

特集にあたって／坂田正三・辻一成	(177) 2010.6
ベトナム農村の工業化—紅河デルタ地域の工芸村の発展を中心に ／坂田正三	(177) 2010.6
大規模私営農場の成長と農業近代化／荒神衣美	(177) 2010.6
メコンデルタにおける農畜水複合経営の動向—バイオガスタイ ジェスター導入農家の事例に基づく検討／辻一成	(177) 2010.6
廃棄物からみたベトナム西北部農村の生活—ホアビン省の事例から ／藤村美穂	(177) 2010.6
ベトナムの青果物輸出と冷凍野菜流通／坂爪浩史	(177) 2010.6
紅河デルタにおける青果物生産と流通の現段階／高梨子文恵	(177) 2010.6
ベトナム北西部における契約農業のミクロ経済効果／西元寺慈子	(177) 2010.6

アジア経済研究所創立 50 周年記念連続特集の開始にあたって

誰に向かって何を書くのか／川上桃子・町北朋洋・山形辰史	(178) 2010.7
-----------------------------	--------------

《「英語の世紀」の地域研究》

特集にあたって／川上桃子	(178) 2010.7
「英語での発信」は誰に不利益をもたらすか—「孵卵器」としての 日本語論文／佐藤章	(178) 2010.7
誰に向けて発信するか—フランス地域研究から見た「英語中心主 義」／鶴巻泉子	(178) 2010.7
東南アジア研究と、等しく、異なる言語／相沢伸広	(178) 2010.7
台湾における英文ジャーナル論文中心主義の興隆とその影響—「日 本留学組」の苦悩／劉仁傑	(178) 2010.7
米国における研究者のキャリアパスと「地域研究」の困難 ／大原盛樹	(178) 2010.7
文章は経国の大業なり／塩田光喜	(178) 2010.7
国際日本研究と私／中村尚史	(178) 2010.7
健闘するスペイン語／宇佐見耕一	(178) 2010.7
英語で書くということ—自然な方向か？／クー・ブー・テック	(178) 2010.7

《温故知新一途上国研究のわすれもの・新しい架け橋》

特集にあたって／町北朋洋	(179) 2010.8
国境を越える人々、制度に潜む人々—法制度研究の彼方に ／山田美和	(179) 2010.8
「忘れられた人びと」から国籍・国境を考える—無国籍者へのまな ざし／陳天璽	(179) 2010.8
伝統的課題と繰り返される失敗—失われつつあるカンボジア先住 民の土地／初鹿野直美	(179) 2010.8
途上国社会の真のバリアを解き明かして、すべての人々のための 開発へ—『障害と開発』が途上国研究に架ける橋／森社也	(179) 2010.8
観察したものをどう整理するのか—左手に観察データを、右手に 論理を／渡邊真理子	(179) 2010.8
ゴミ売る人々／伊藤成朗	(179) 2010.8
「地域研究」を超えて—自然実験による制度研究の視点から／湊一樹	(179) 2010.8

「鳥の眼」になり地球観測衛星画像を気軽に使う／横田真	(179) 2010.8
----------------------------	--------------

《国際協力と研究者—現場と研究室の深い河》

特集にあたって／山形辰史	(180) 2010.9
第I部 研究者と国際協力	
研究者としての開発政策への関与／柳原透	(180) 2010.9
実務と研究をつなぐ橋／佐藤寛	(180) 2010.9
JICA研究所とアジア経済研究所—出向先で考えたこと ／武内進一	(180) 2010.9
第II部 現場から望むこと	
研究機関とNGO—それぞれが担うべき役割／斉藤龍一郎	(180) 2010.9
野人待望論—未来を切り拓く研究を／戸田隆夫	(180) 2010.9
開発パラダイムはシフトしたか／久木田純	(180) 2010.9
第III部 座談会	
日本の国際協力はどうあるべきか—アジア経済研究所開発ス クール卒業生に聞く／荻野有子、森裕之、轟由紀、河原工（司 会）山形辰史	(180) 2010.9

《アジアの障害者立法—国連障害者権利条約への対応》

特集にあたって／小林昌之	(181) 2010.10
韓国の国家人権委員会法と障害者差別禁止法／崔榮繁	(181) 2010.10
中国の障害者保障法改正—権利確立への挑戦／小林昌之	(181) 2010.10
実効的な権利保障の実現が課題—カンボジア／四本健二	(181) 2010.10
タイにおける障害者権利条約への対応と国内法整備—2007年障害 者エンパワメント法について—西澤希久男	(181) 2010.10
フィリピンにおける法と障害者—法の実施の実態から／森社也	(181) 2010.10
インド 1995年障害者法の改正に向けて／浅野宜之	(181) 2010.10

《イランの民主化は可能か》

特集にあたって／鈴木均	(182) 2010.11
イラン現体制の正当性の危機をめぐって／アリー・フェルドウ スイー	(182) 2010.11
革命防衛隊めぐるイランの政軍関係の変容／佐藤秀信	(182) 2010.11
イラン女性の挑戦—ヴェールによる自己表現と民主化の可能性 ／山崎和美	(182) 2010.11
イラン現代史—権威主義に抗議する社会／ケイワン・アブドリ	(182) 2010.11
イスラエルから見たイラン核問題／出川展恒	(182) 2010.11
中傷か真実の暴露か—ケイハーン紙をめぐる出版裁判について ／山岸智子	(182) 2010.11
イランの民主化は果たして可能か／鈴木均	(182) 2010.11

《APEC はどこにいくのか？—APEC 研究センターコ ンソーシアム会議 2010》

特集にあたって—ボゴール目標のその先／平塚大祐	(183) 2010.12
APEC参加エコノミーを取り巻くサービス貿易自由化の現状 ／平戸光	(183) 2010.12
環太平洋パートナーシップ (TPP) 協定—始まり、意義および見 通し／ロバート・スコレー	(183) 2010.12
中国の台頭とアジア太平洋地域の域内アーキテクチャー／蔡鶴鴻	(183) 2010.12
ロシアのAPEC加盟—域内統合・発展への名目的参加からようや	

『アジ研ワールド・トレンド』

2010年1月～12月

記事総目録

《 》内は特集名、()内の数字は通巻番号)

●巻頭エッセイ

20年一昔／森田徳忠	(172)	2010.1
マイクロファイナンスの挑戦／福井龍	(173)	2010.2
アジ研図書館は調査・研究者の宝／吉田昌夫	(174)	2010.3
穀物需給の構造的変化／江藤隆司	(175)	2010.4
「私の气象台」という世界観／石橋博良	(176)	2010.5
ベトナム経済の工業化・国際化と農業農村／長憲次	(177)	2010.6
アカデミック・マーケットの使用言語／吉野耕作	(178)	2010.7
地域研究と経済史の新しい課題／岡崎哲二	(179)	2010.8
開発協力の知的ポリシー・コミュニティの形成を／大野泉	(180)	2010.9
障害者権利の実現に向けて／秋山愛子	(181)	2010.10
「マフディー、来たりませ！」／上岡弘二	(182)	2010.11
新段階を迎えたAPEC／浦田秀次郎	(183)	2010.12

●特集

《メコン地域—越境手続き自由化の展望と国境経済圏の形成》

特集にあたって／石田正美・工藤年博	(172)	2010.1
越境交通協定(CBTA)と貿易円滑化／石田正美	(172)	2010.1
タイにおける移民労働者管理とその課題／伊藤路子	(172)	2010.1
東西経済回廊—ラオバオ=デンサワン国境ゲート／白石昌也	(172)	2010.1
南部経済回廊—モクバイ=バベット国境ゲート／白石昌也	(172)	2010.1
タイ・カンボジア国境／矢倉研二郎	(172)	2010.1
ラオス—タイ越境インフラ整備と経済活動—メコン橋を中心に ／ケオラ・スックニラン	(172)	2010.1
ミャンマーの国境地域開発—タイ国境を事例として／工藤年博	(172)	2010.1
南北経済回廊上の国境貿易と国境経済圏の進展／恒石隆雄	(172)	2010.1
中越国境でみる両国の経済格差—3つの国境ゲート／池部亮	(172)	2010.1
雲南からみた中緬国境／畢世鴻	(172)	2010.1
メコン地域・経済回廊の経済効果／磯野生茂	(172)	2010.1

《マイクロファイナンス—変容しつつける小規模金融サービス》

特集にあたって／濱田美紀	(173)	2010.2
マイクロ健康保険—購入動機の分析／高野久紀	(173)	2010.2
マイクロクレジット商品に対する顧客の選択—インドネシアの事例／塚田和也	(173)	2010.2
マイクロクレジットのインパクト—貧困削減への含意／高橋和志	(173)	2010.2
自営業世帯の分析—起業選択モデルから／東方孝之	(173)	2010.2
マイクロファイナンスの商業化—資金不足の解消方法／濱田美紀	(173)	2010.2

《アジ研図書館 50年の足跡と未来—蔵書構築・情報発信の課題》

特集にあたって／村井友子	(174)	2010.3
--------------	-------	--------

第I部 蔵書構築

地域コレクションの構築／松本脩作	(174)	2010.3
コラム 図書館の恵み永きを願って／佐藤宏	(174)	2010.3
初期のハンゲル図書収集と利用状況／花房征夫	(174)	2010.3
コラム 図書館と新聞／中川雅彦	(174)	2010.3
戦前期アジア関係日本語資料コレクション／井村哲郎	(174)	2010.3
多言語資料収集50年／石井美千子	(174)	2010.3
コラム 虫の目、鳥の目—地域研究とアジ研図書館の役割 ／岩井美佐紀	(174)	2010.3
コラム 大学教員から見たアジ研図書館／松尾昌樹	(174)	2010.3
統計資料の構築—他のコレクションとの相違点／東川繁	(174)	2010.3
コラム 時代の変化に対応した身近な図書館へ／早瀬保子	(174)	2010.3
途上国官報—収集の現状と課題／石井美千子	(174)	2010.3
コラム 法情報—青焼きコピーからオンラインへ／今泉慎也	(174)	2010.3
開発計画書—膨大な蓄積と電子化への流れ／高橋宗生	(174)	2010.3

第II部 情報発信

機械化事始め／井村進	(174)	2010.3
目録所在情報サービス(NACIS-CAT/ILL)への参加 ／伊藤えりか	(174)	2010.3
ウェブによる資料情報サービスの展開—図書館ウェブサイトを中心に ／岸真由美	(174)	2010.3
『e-Japan戦略II』に呼応したデジタルアーカイブの構築 ／泉沢久美子	(174)	2010.3
機関リポジトリによる情報発信の可能性—ARRIDEの歩み ／坂井華奈子	(174)	2010.3
図書館の出版事業50年を振り返る／佐々木茂子・高橋宗生	(174)	2010.3
アジア経済研究所図書館50年の歩み略年表／菅原房子	(174)	2010.3

《途上国の穀物輸出—その現状と展望》

特集にあたって／重富真一・清水達也	(175)	2010.4
なぜタイはコメ輸出規制をしなかったのか／重富真一	(175)	2010.4
インドのコメ輸出動向を支配する国内食料政策／久保研介	(175)	2010.4
ベトナムのコメ輸出規制／塚田和也	(175)	2010.4
期待される古豪の復活—ミャンマーのコメ輸出／久保公二	(175)	2010.4
世界有数の大豆輸出国に成長したアルゼンチン／清水達也	(175)	2010.4
躍進を続けるブラジル産大豆／清水純一	(175)	2010.4
食糧安全保障政策を強化する中国—トウモロコシを中心に ／寶飯久俊	(175)	2010.4

《現地レポート特集》

特集にあたって アジ研の制度資産／真田孝之	(176)	2010.5
出稼ぎと市民の間／山口真美	(176)	2010.5
台湾の年中行事と家族／岡崎幸司	(176)	2010.5
変貌するインドネシア経済団体／佐藤百合	(176)	2010.5
転換期を迎えるタイの移民労働者政策—合法と非合法の間で ／山田美和	(176)	2010.5
複層的な多核都市アデー／村山真弓	(176)	2010.5

▶「韓中、日中FTAの影響—締約国および第三国への影響」(奥田聡、渡辺雄一著)
政策提言研究の成果をウェブで発表。

「韓国のFTAをめぐる状況はこのところ急速に動いており、韓国のFTAが第三国に与える影響に関し最新の状況を加味した再検討を行う必要に迫られていた。今回は、各界のニーズを踏まえ、韓中FTAが第三国、とりわけ日本に与える影響を分析し、暫定的ではあるがその結果を発表することとした。また、韓中FTAがもたらす影響を埋め合わせる方策としては日中EPAを締結することが考えられるが、これについても影響分析を行った。」(「研究実施の背景」より)

次のサイトで全文を閲覧できます。

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Download/Seisaku/1010_01.html

▶岩波書店から2点出版

●森壮也編『途上国障害者の貧困削減—かれらはどう生計をいとなんでいるのか』

世界の貧困層の三割、途上国農村部の貧困層の二割を占めると言われる障害者。世界的な貧困削減を進めるうえで、途上国の障害者の生計向上は重要な課題である。丹念な調査で得られた多角的データから、従来の政府統計などでは十分に把握されてこなかった、かれらの暮らしの現実を浮き彫りにし、貧困削減戦略の再構築をめざす。

6,405円(税込み) A5判221p. 11月発行
ISBN978-4-00-025793-0

●山形辰史・高橋和志編『国際協力ってなんだろう—現場に生きる開発経済学』(岩波ジュニア新書)

本誌アジ研ワールドトレンドに2年間連載した「もっとやさしい開発経済学」が新書になりました。発展途上国の開発や、国際協力に関わる様々な話題を提供、やさしく簡潔に説明しております。開発経済学の初学者の方々のもとより、開発に関心をもつ一般のかたにもおすすめの入門書です。

819円(税込み) 新書判208p. 11月発行
ISBN: 978-4-00-500668-7

▶海外からの訪問者

1. 中国=王佩亭 (Wang Peiheng) (国務院発展研究センター人力資源研究養成センター主任)、他19名=10月7日

アジ研の事業内容、研究体制、人事評価制度、予算構成などについてヒアリング

2. インドネシア=Ms. Siti Daulah Khoiriati (ガジャマダ大学 日本研究センター講師)、他1名=10月13日
インドネシア、日本を含めた東アジア諸国について状況、インドネシアをめぐる国際関係、アジ研の研究・図書館について

3. メキシコ=Dr. Salvador Carrillo Regalado (グアダラハラ大学、経済経営学部 経済地域研究所長)、他2名=10月21日

日墨経済連携協定下におけるメキシコ中小企業振興策に関する研究プログラムにおける訪日調査の紹介

2011年1月号特集の予告

「現代中国を分析する—中国重点研究の総括とその後の展開」

アジ研では2006年から2009年まで中国総合研究プロジェクトを実施し、中国を企業、政治、資源・環境、農業など多面的に研究いたしました。その成果は主に、アジ研選書を通じて発表されております。1月号では改めて本プロジェクトで得られた知見を簡潔に提示し、現代中国理解に資することにしたいと思います。

(1月14日刊行予定。タイトルは変更することがあります。)

アジ研ワールド・トレンド

第16巻第12号 通巻183号
2010年12月15日発行

編集・発行
日本貿易振興機構アジア経済研究所
研究支援部
〒261-8545 千葉市美浜区若葉3丁目2番2
電話 043(299)9735 FAX 043(299)9736
ウェブサイト www.ide.go.jp

印刷・製本
株式会社アイワード

個人会員入会のご案内

『アジ研ワールド・トレンド』の配付をはじめとする様々なサービスをご提供する個人会員制度がございます。年会費10,000円です。

サービス内容は以下のとおりです

- 「アジ研ワールド・トレンド」(月刊) 送付
- アジア経済研究所図書館資料貸出(登録が必要となります)
- アジア経済研究所出版物(単行書) 1点追加配付いたします
- 各種料金割引
例 ・出版物を直接ご注文のとき2割引でご購入できます(定期刊行物を除く)
・講演会受講料の割引例: 4,000円→2,000円
- ファックスにて事前に講演会開催案内をご連絡いたします

詳細は<http://www.ide.go.jp/Japanese/Members>をご覧ください
お問い合わせ先 成果普及課 賛助会担当まで
Tel: 043-299-9536 e-mail: members@ide.go.jp

弊誌へのご意見、ご要望をお寄せ下さい。
FAX 043-299-9736 email: syuppan@ide.go.jp

アジア経済研究所新刊のご案内

研究双書 No.588 大塚健司 編 『中国の水環境保全とガバナンス —太湖流域における制度構築に向けて』

中国の水環境問題解決のために求められるガバナンスとは？ 2007年水危機以降の太湖流域における計画、政策、参加をめぐる新たな展開を分析し制度構築の課題を明らかにする。

本体価格 3,400円＋税／A5判／p.274／2010年11月発行／ISBN978-4-258-04588-04

序章	中国の水環境問題の解決に向けたガバナンス —太湖流域へのアプローチ—	／大塚健司
第1章	太湖流域の水環境保全計画の展開と課題	／水落元之
第2章	太湖流域水環境政策の地方イニシアティブ	／大塚健司
第3章	水環境保全のための政策手段とガバナンス —先進諸国の経験と太湖流域の課題—	／藤田 香
第4章	太湖流域におけるコミュニティ円卓会議の試み	／大塚健司
第5章	環境保全・再生における住民参加の可能性 —日本の流域ガバナンスの経験をもとにして—	／磯野弥生
終章	太湖流域における制度構築に向けて	／大塚健司

研究双書 No.589 佐藤幸人 編 『アジアの産業発展と技術者』

経済発展の根幹は技術発展であり、技術発展の主たる担い手は技術者である。

本書は技術者に焦点を当てて経済発展のメカニズムを論じた、新しいアジア経済論の試みである。

本体価格 2,100円＋税／A5判／168p.／2010年11月発行／ISBN978-4-258-04589-1

序章	アジアにおける技術者と産業発展	／佐藤幸人
第1章	韓国高等教育機関における技術者の養成とその進路	／安倍 誠
第2章	台湾における産業発展と技術者の戦略	／佐藤幸人
第3章	フィリピン人技術者の海外流出と産業発展	／鈴木有理佳
第4章	中国の製造業の発展を支えた技術者層の形成	／大原盛樹

既刊書から

奥田 聡 著 『韓国のFTA—10年の歩みと第三国への影響—』 (アジ研選書 No.19)

米国、EUなど主要先進国とのFTAをまとめ、近年とみに積極的な展開を見せる韓国のFTA政策。その足取りと成果を点検するとともに、日本など第三国への影響を占う。

本体価格 3,100円＋税／A5判／247p.／2010年2月発行／ISBN978-4-258-29019-2

東 茂樹 編 『FTAの政治経済学—アジア・ラテンアメリカ7カ国のFTA交渉—』 (アジ研選書 No.7)

FTA交渉を事例に、アジア・ラテンアメリカ7カ国の経済、産業面における変革と政治アクターの対応を分析。各国の制度的枠組や政策決定過程の特徴を浮き彫りにする。

本体価格 3,300円＋税／A5判／258p.／2007年発行／ISBN978-4-258-29007-9

岡本次郎 著 『オーストラリアの対外経済政策とASEAN』 (研究双書 No.575)

オーストラリアの対ASEAN政策とその変化を国内外の政治経済ダイナミクスを通して分析し、東アジア統合への参画を模索する同国の対外経済政策を浮き彫りにする。

本体価格 4,000円＋税／A5判／316p.／2008年発行／ISBN978-4-258-04575-4

アジア経済研究所の出版物は、当研究所への直接注文によるほか、お近くの書店ならびに各種オンライン書店でお買い求めいただけます。ただし産業連関表のCD-ROMは当研究所への直接注文を通じてのみの販売となっております。詳しくは www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Order をご覧ください。

お問い合わせ先

ジェトロ・アジア経済研究所 出版企画編集課 (販売担当)

〒261-8545 千葉県美浜区若葉 3-2-2

Tel : 043-299-9735

FAX : 043-299-9736

E-mail : syuppan@ide.go.jp



故大平正芳氏は1978年の首相主任演説で「環太平洋連帯構想」を呼びかけた。同構想をもって、1980年オーストラリア、ニュージーランドを訪問、環太平洋連帯に各国政府が参加する道を開いた。
写真は、栄誉礼における大平首相とフレーザー・オーストラリア首相（後ろ）
（撮影日：1980-01-16、写真提供：時事）